

INFORMATION

No.2021.17
2021年9月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 実施日 2021年9月13日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
3643	IgD 5A025-0000- 023-062	血清 0.7	① 真空採血管	冷蔵 (28 日)	3~5	38 ※6	ラテックス 凝集免疫 比濁法	12.6以下 (mg/dL)	

※6：免疫学的検査判断料



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

● IgD

IgD 型骨髄腫（形質細胞腫）と原因不明の周期性発熱を伴う高 IgD 血症に有用な検査です。

IgD は IgE の次に少ない免疫グロブリンであり、IgD 産生細胞は骨髄、リンパ節、脾、唾液腺、乳腺、扁桃、腸管粘膜などに分布しています。リンパ球膜上あるいは分泌液中での細菌-IgD 相互作用により、上気道感染の防衛上 IgD が重要な働きをしていると考えられています。血清 IgD の測定は、とくに IgD 型骨髄腫（形質細胞腫）と原因不明の周期性発熱を伴う高 IgD 血症の場合に重要です。また生理的意義が明らかではないので疾患と関連して測定されることは少ないですが、各種疾患で異常値を示す場合があります。

▼疾患との関連

多発性骨髄腫

▼関連する主な検査項目

免疫電気泳動（特異抗血清による同定）

▼検査要項

検査項目名	IgD
項目コード	3643
検体量	血清 0.7 mL
容器	①真空採血管
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3～5 日
検査方法	ラテックス凝集免疫比濁法
基準値（単位）	12.6 以下（mg/dL）
報告範囲（単位）	0.2 未満、0.2～99900000（mg/dL）
桁数	有効 3 桁、整数 8 桁、小数 1 桁
検査実施料	38 点 （「DO15」血漿蛋白免疫学的検査「O4」）
判断料	144 点（免疫学的検査判断料）
備考	

●参考文献

伊藤 忠一：臨床検査機器・試薬 9（1）：1～5，1986。（検査方法参考文献）

荒川 正明：日本臨床48（増）：232～234，1990。（臨床的意義参考文献）